

放課後児童クラブの入会児童を募集します



共働きなどの理由で保護者が昼間家庭にいない小学生に対し、遊びや生活の場を提供して健やかな育成を図ることを目的として、町内9か所に放課後児童クラブを設置しています。

令和5年4月1日から入会希望の方は**新規・継続関係なく、必ず入会申込みが必要です**。入会申込書は10月17日(月)から配布します。

■入会受付・申込期間

1期：11月1日(火)～11月18日(金)

2期：12月1日(木)～12月16日(金)

※1期受付で定員に達した児童クラブは、2期受付で入所できない場合があります。

■申込み・お問い合わせ先

子ども支援課 子育て支援係(内線2144)



【入会申込書】
放課後児童クラブ

※定員は全て40人

| クラブ名 | 所在地 |
|----------------|-------------|
| えいしん児童クラブ | 宮之城屋地1556-3 |
| 信教寺児童クラブ | 宮之城屋地808-1 |
| 太陽学童クラブ | 宮之城屋地2115 |
| 佐志学童クラブ | 広瀬1178 |
| 山崎学童クラブ | 山崎853-1 |
| つるだ学童クラブ | 神子666-1 |
| 錦光保育園こすもす少年クラブ | 求名2732-4 |
| 恵光学童クラブ | 中津川4268 |
| 永野学童クラブ | 永野2562 |

保育所・認定こども園の新入園児を募集します



令和5年4月からの新入園児を募集します。

入所申込書は10月17日(月)から配布します。



【入所申込書】
認定こども園
(幼稚園部分)



【入所申込書】
保育所・認定こども園
(保育所部分)

保育所・事業所内保育所

■募集施設

山崎保育園、佐志保育園、太陽保育園、信教寺保育園、上宮保育園、わんぱくキッズ(事業所内保育所)

※町外施設を希望する場合はご相談ください。

■申込受付期間

1期：11月1日(火)～11月18日(金)

2期：12月1日(木)～12月16日(金)

※転所を希望する場合は新たに申込みが必要で、現在入所している園に継続して入所する場合は申込みの必要はありません。

■対象者

0歳～小学校入学前の子ども

(わんぱくキッズは0歳～2歳の子ども)

※保護者全員が就労などの理由で家庭での必要な保育ができない場合に入所できます。

■申込み・お問い合わせ先

子ども支援課 子育て支援係(内線2144)

認定こども園

■募集施設

幼保連携型認定こども園つるだ同朋子ども園、認定こども園クオラキッズ、あさひこども園、しびこども園、宮之城聖母幼稚園、恵光保育園、吉祥保育園

■申込受付期間

幼稚園部分…11月1日(火)～

保育所部分…左記の保育所と同日程

■対象者

幼稚園部分…満3歳～小学校入学前の子ども

保育所部分…0歳～小学校入学前の子ども

※宮之城聖母幼稚園の保育所部分は令和5年度で3歳になる子どもが入所できます。

■申込み・お問い合わせ先

幼稚園部分は各園に、保育所部分は子ども支援課子育て支援係にお問い合わせください。

- ・つるだ同朋子ども園……………☎59-3074
- ・クオラキッズ……………☎53-0335
- ・あさひこども園……………☎59-8675
- ・しびこども園……………☎59-8367
- ・宮之城聖母幼稚園……………☎53-0602
- ・恵光保育園……………☎57-0845
- ・吉祥保育園……………☎53-0305
- ・子ども支援課 子育て支援係(内線2144)

▶ コミュニティ助成事業で備品整備

町では、区公民館の備品整備などに対し、宝くじ収益を財源とするコミュニティ助成事業を活用しています。今回、鶴田区公民館が助成を受け、テントや折りたたみ机などを購入。市来浩二館長は「区民から要望が多い備品を揃えられました。公民館活動に活用していきたいです」と話しました。



市来館長と助成を受けて購入したテントなどの備品

▶ 全国消防救助技術大会で入賞

8月26日、東京都で全国消防救助技術大会が行われ、町消防本部の下築翔消防副士長が県代表でロープブリッジ渡過の部に出場し、見事入賞しました。下築消防副士長は「応援してくださった方々のサポートのおかげで入賞できました。今後も皆さまへの感謝の気持ちを忘れることなく、熱い気持ちを持って町民の生命や財産を守ります」と話しました。



先頭でロープを軽快に渡る下築消防副士長



町消防本部の下村晴彦消防長(左)、下築消防副士長

▶ 日本特殊陶業と立地協定を締結

9月13日、日本特殊陶業株式会社がグループ会社の株式会社日特スパークテックWKSさつま工場を増設するにあたり、北薩地域振興局長の立ち会いのもと立地協定を締結しました。日本初のスパークプラグメーカーである日本特殊陶業は現在世界シェアの約4割を占め、さつま工場は1工場あたりのスパークプラグ生産量世界一を誇っています。今回の増設は、めっき工程の処理能力向上と生産体制の強化を図るもので、10人の新規雇用を予定。加藤章良上席執行役員は「電気自動車は進むが、スパークプラグは発展途上国を中心に需要が増加しており、それを供給するの日特の責務。従業員が働いて良かったと思える環境をつくり、さつま町だけでなく世界に貢献できる工場にしたいです」と話しました。



左から上野町長、加藤上席執行役員、橋本宏幸局長

▶ 少年補導員に感謝状を贈呈

9月14日、さつま警察署で、少年警察ボランティアである少年補導員の山下英雄さんに、県少年警察ボランティア連絡協議会と県警察本部から感謝状が贈られました。山下さんは約15年にわたり、少年の非行防止や健全育成のために活動。山下さんは「今後も若者の健やかな成長のための環境づくりに貢献したいです」と話しました。



山下さん(左)と感謝状を手渡した福元俊一署長